

令和 5 年度 愛西市地域保健対策協議会会議録（概要）

会 議 名	令和 5 年度第 2 回愛西市地域保健対策協議会
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 19 日(月)午後 2 時から午後 3 時 10 分まで
開 催 場 所	愛西市佐屋保健センター2 階 会議研修室
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	近藤 良伸委員、安井 久委員
協 議 事 項 等	<p>●協議事項</p> <p>(1)愛西市の保健統計について</p> <p>(2)令和 6 年度愛西市保健事業実施計画（案）について</p> <p>(3)意見交換「愛西市健康日本 21 計画について」</p> <p>(4)その他</p>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	<p>次第</p> <p>令和 5 年度愛西市地域保健対策協議会委員名簿</p> <p>資料番号 1 愛西市の保健統計</p> <p>資料番号 2 令和 6 年度愛西市保健事業計画（案）について</p> <p>資料番号 3 愛西市健康日本 21 計画（きらり☆あいさい 21）について</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市地域保健対策協議会委員

役職名	氏 名	職種名及び団体名	備 考
会 長	前田 知幸	愛西市医師代表	
副会長	奥田 悦司	愛西市歯科医師代表	
委 員	佐久間清美	名古屋学芸大学大学院看護学研究科教授	
〃	近藤 良伸	愛知県津島保健所長	欠席
〃	安井 久	愛西市薬剤師代表	欠席
〃	猪飼 常雄	愛西市総代連絡調整会議会長	
〃	高橋 寛直	愛西市民生児童委員協議会代表	
〃	原田 健三	愛西市社会福祉協議会会長	
〃	堀田 豊彦	愛西市老人クラブ連合会会長	
〃	松永恵美子	愛西市婦人会会長	
〃	■方美津恵	愛西市食生活改善推進協議会会長	
〃	長谷川悦夫	愛西市内の小中学校長代表	
〃	佐藤 博之	愛西市教育部長	

事務局

清水 栄利子	高松 潤也	服部 芳樹	山森 育子	村瀬 さやか
堀田 紫津子	藤澤 花鈴	藤松 志乃	浅井 彩乃	平野 晴佳

審議経過

発言者	内容（概要）
会長	<p>1. あいさつ 会長あいさつ</p> <p>2. 協議事項 会議次第に従いまして、進行させていただきます。 協議事項(1)愛西市保健統計について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1)愛西市保健統計について 事務局より、資料番号1に基づき報告</p>
会長	<p>ただ今、協議事項（1）の事務局から説明があった内容について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p>
会長	<p>無いようですので、次に、協議事項(2) 令和5年度愛西市保健事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2)令和6年度愛西市保健事業計画（案）について 事務局より、資料番号2に基づき報告</p>
会長	<p>ただ今、協議事項(2)の事務局から説明があった内容について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>以前、前立腺がん検診で要精密検査となり、定期的に検査をしていたが、別日に近医へ受診したところ「無料だから前立腺がん検診も受けるように」と言われた経験がある。検査しても要精密検査の結果が出てしまう。医師によっていろいろな指導方法があると思うが、個人の状況に合わせて勧奨していただけると良い。</p> <p>子宮頸がんワクチンの接種者数は増加しているのか。一時期、積極的に接種を勧奨しなくなったと思うが、ワクチンの有効性について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>子宮頸がんワクチンの接種者数については、本日配布した冊子「令和4年度愛西市の保健」を確認いただきたい。</p> <p>接種者数は、平成30年度は合計5名であったが、令和4年度は合計720名となり、年々増加している。今年度4月から9価ワクチンが追加され、ワクチンの種類が増え、今後も接種者数は増加していくと見込んでいる。平成25年6月から当予防接種の積極的勧奨が差し控えられたが、国の様々な検証等がなされた後、令和4年度から積極的勧奨を再開することとなった。アメリカでは、予防接種とがん検診の組み合わせで子宮がんの予防に取り組まれている。日本においても予防接種とともにがん検診受診を勧奨し、発症予防、早期発見の取組を進めていく。</p>
委員	<p>歯科保健事業の訪問口腔衛生指導について、「訪問による相談・指導を必要とする住民」というのは、どのように保健センターにつながっていくのか。</p>

事務局	例えば、市民が歯科医院に出向くことができない状態であることを、かかりつけ歯科医から市へご指示いただいたり、また、家族から歯科医院には受診できないが、口腔内のことで相談したいと保健センターへご連絡いただいたりすることで把握、実施をしている。
委員	8020運動は続けていくが、賞状授与は9020で行うということと理解した。 9020というと、90歳まで生き、自分の歯もしっかり残っていることが必要でハードルが高く感じる。一見すると8020運動がなくなったように感じるが、これまで8020運動の成果も挙げてきており、今後もしっかりと推進してほしい。
事務局	8020運動は継続すべきものと認識している。県でも策定を進めている第3次健康日本21計画において10年後までの目標値として「8020達成 75%」を掲げている。市としても8020を市民に通過点として浸透させ、より多くの方に8020を達成していただくため、若い世代への施策を充実させていく。その先に9020表彰があると思っている。9020認定を今年度から開始し、現在までに7名の方が認定されている。さらにそういった方が増えるよう市の施策を拡充させていきたい。
委員	事業の考え方として、8020をクリアした人が10年後に9020の対象となり、対象が非常に限られることを理解していく必要がある。先ほど事務局から話があったように、8020達成者が75%に到達できるよう進めていただきたい。
会長	8020と健康寿命とはどんな関連があるのか。
副会長	自分の歯が20本以上あると、ほとんどのものを噛んで食べられ、生活習慣病になりやすく、それ以下になると食べられるものが限られ、偏食から健康を害するというデータがある。 8020運動は、平成元年に愛知県歯科医師会から全国に発信されたもので、開始当初は、80歳代で自分の歯が数本であったが、30年ほど経過した近年では、十数本という結果が出ている。
会長	次に、協議事項(3)意見交換「愛西市健康日本21計画について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	(3) 意見交換「愛西市健康日本21計画について」 事務局より、資料番号3に基づき説明。
会長	ただ今、事務局から次期愛西市健康日本21計画の策定について説明がありました。時間が許す限り、それぞれのお立場からご意見をいただきたいと思えます。多機関連携や自然に健康になれる環境づくり等を中心に協議できると良いと思いますが、いかがでしょうか。
委員	新規追加指標の中に「メンタルヘルス対策に取り組む事業所の増加」とあるが、市内事業所がどのような取り組みをしているのかを調査するのか。または、啓発にとどめるのか。

事務局	<p>具体的な把握方法については、これから検討していく。</p> <p>現在、市は協会けんぽと包括協定を結んでおり、健康経営を推進し、健康宣言をしている事業所については市にも情報提供があり、状況把握や連携をしている。また、協会けんぽや商工会とは検診等でも連携をはかっている。</p>
会長	<p>「健康のために〇〇しよう」と周知をすると、だいたい健康な人が集まってくる。具体的にターゲットをしぼり、周知方法を検討していくと良いのではないか。例えば、骨粗鬆症予防について知識を得るのが大人になってからになりがちだが、小中学生女子を対象にしてみる。また、運動に関しても「糖尿病を改善するため」「この事業に参加して、こんな効果があった」というような具体的な呼びかけや、事業評価のフィードバック等があると良いのではないか。市ではいろいろな事業を実施していると報告があったが、出前講座では、そのテーマに沿った内容だけではなく、市事業の周知・参加の呼びかけもすると良いと思う。</p>
事務局	<p>ご意見にあったように、年齢が高くなってからの予防、行動変容は難しく、タバコやアルコールに関しても、低年齢、学齢期から正しい知識普及は重要と感じている。今年度から子どもへの介入をきっかけに、保護者や同居家族等、家族ぐるみで幅広い年代への波及効果、行動変容を促せるようなアプローチ方法を検討し取り組んでいる。</p>
委員	<p>市職員は、始業前に「あいさいのびのびストレッチ」を実践していると知った。市内事業所でも、始業時にラジオ体操を行うなど、点呼以外にも声をかけあって運動を取り入れてみえるところがあると聞く。「あいさいのびのびストレッチ」はどれくらい浸透しているか。</p>
事務局	<p>具体的な数字は持ち合わせていないが、小中学校、事業所等から希望があれば出前講座として運動推進員が出向いており、その参加者数は把握している。また、「のびのび教室」として市内公共施設において年数回開催している。ストレッチの普及は平成21年度から開始。コロナ禍では開催ができなかったが、再開してからは毎回約30～40人程度の参加があり、今年度は14回開催し、1,526人が参加された。</p>
委員	<p>乳幼児から健康を中心に事業を展開されていると思う。相談事業も大事だが、社会問題や経済的問題等から子どもの虐待につながることもあると思う。虐待に関して関係課や児童相談所等と情報共有や連携はされているか。</p>
事務局	<p>子どもの虐待は、子育て支援課が主管課となっており、お互いに連携している。健康推進課では、母子健康手帳交付、赤ちゃん訪問などで保健師が全数面接を実施し、母子の健康づくりを中心に事業を行っている。</p> <p>虐待リスクがある、または支援が必要と思われる家庭については、必要時子育て支援課や児童相談所等と妊娠期から切れ目なく支援ができるよう、連携・情報共有を行っている。</p>
委員	<p>学校現場において、従来から健康推進課や子育て支援課等と虐待も含めた情報共有を行っている。学校のカリキュラムの制限はあるが、健康推進課職</p>

委員	<p>員と養護教諭との情報共有等により様々な授業も実施している。今後新たな事業展開については関係課で連携を図りながら取り組みを進めていく。</p> <p>多様な主体との連携という課題があったが、例えば、健康日本21計画の策定委員会・部会の委員に職域代表は入っているか。他市町村では、ロータリークラブ青年部が入っており、民間企業との連携において有効だと思われる。また、校長会代表、養護教諭部会代表が委員として参加されており、職域と学校との連携がとれるチャンスがあった。庁内の連携として、部長クラスまたは課長クラスの会議等において、全ての部署を横断し、「健康」をキーワードにした政策について検討してもらえると良い。</p> <p>愛西市は健康推進課以外にも複数の部署に保健師の配置がされている。昨年出された「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」では、統括保健師を配置し、組織横断的なマネジメント体制の充実を図り、健康危機管理の役割を担うこととされている。統括保健師がそのような役割を担っているか、各部署に配置されている保健師が定期的に話し合い、連携できているか確認が必要。</p> <p>「こども家庭センター」について、名称の変更にとどまらず、事業内容の充実・評価も行っていくこと。</p> <p>平成30年度に作成された第2次愛西市健康日本21計画中間報告書を確認したところ、「市民の健康を支え、守る環境づくり」の「方向性や今後の取り組み」では、「地域の関係者が積極的に健康づくりに取り組めるよう、社会環境を整備する」と明記されている。この5年間で取り組んできたことを整理しながら次期計画策定に臨むと良いと思う。</p>
会長	<p>ありがとうございました。時間も迫っていますので、次に進めさせていただきます。</p> <p>(4) その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>(4) その他について</p> <p>本日のこの会議をもちまして、今年度の開催予定回数2回が終了となります。委員の皆様には、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>委員の任期につきましては、今年度・来年度の2年となります。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>令和6年度第1回の委員会は8月ごろを予定しております。</p>
会長	<p>以上をもちまして、令和5年度第2回愛西市地域保健対策協議会を終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>